

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員

岩井やすのり

プロフィール 1970年生まれ 47歳

早稲田大学大学院 政治学研究科修了
H27年 千葉県議会議員 2期目当選

岩井やすのり 議員事務所

TEL: 0476-36-7799

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23(栄町役場前大山ビル 2F)

圏央道大栄～横芝間の着工決定 国が正式通知

圏央道で県内唯一の未着工区間だった大栄～横芝間(18.5km)について、国土交通省より正式通知があり、今年度中の工事着手が決定しました。

「半島性解消」 観光振興、企業進出に期待

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)は、東京都心から半径40～60kmをぐるりと取り囲む環状線。横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津など主要な都市を結ぶ総延長約300kmの高規格幹線道路です。



圏央道(市原舞鶴IC付近)

千葉県内では東京湾アクアラインに接続する木更津から、房総半島の中央を通り、成田空港周辺を経て、茨城県に抜ける95kmが計画されています。

圏央道が全線開通した場合、首都圏の慢性的な交通渋滞の緩和や、成田空港、羽田空港という二大空港へのアクセス向上に加え、関東地方の行き止まりであった千葉県が「半島でなくなる」ことで、本県の観光振興、企業立地促進が期待されるそうです。

埋蔵文化財調査のため計画より大幅な遅れ



現地での発掘調査(国交省HP)

今回、着工が決定したのは、大栄ジャンクションから横芝インターチェンジまでの18.5km。事業主体の国が、道路の工事費用を含む、「工事費」21億6800

圏央道の整備状況



万円を計上し、今年度は多古町などで地盤の改良工事に着手するほか、環境整備にあたることとなります。

県内では、H25年4月に木更津～東金間(42.9km)、H27年6月に神崎(県境)～大栄間(9.7km)が開通する一方で、大栄～横芝間については計画から大幅に遅れが生じ、工事着手にさえ至っていなかったものです。これは、予定地である下総台地に多数の埋蔵文化財があり、その発掘調査が必要となったため、県教育委員会の指導の下、H26年度より続けられています。

用地取得57%、事業進捗15% 開通時期見通せず

圏央道大栄～横芝間については、昨年度末現在で、用地進捗率(用地の取得進捗度)が57%、事業進捗率(費用投入の進捗度)が15%であり、引き続き、成田～山武地区の用地買収、埋蔵文化財の発掘調査が必要。開通時期はまだ見通せない状況にある中、早期開通に向けた国への働きかけを求めています。

県道鎌ヶ谷本埜線バイパス 豊年橋橋脚の設置へ

急カーブ連続で救急車がう回～鎌ヶ谷本埜線

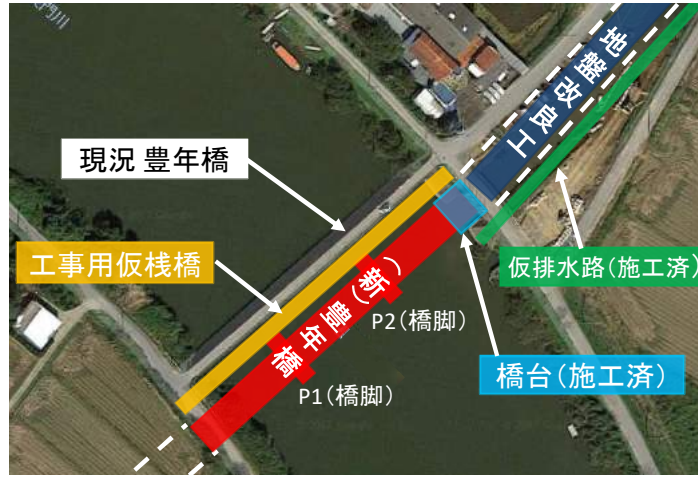
県道鎌ヶ谷本埜線は、一部国道 464 号を經由しながら、鎌ヶ谷市初富から印西市安食ト杭までの全長 31km の幹線道路。千葉 NT 地区と成田空港方面へのアクセス道路として位置づけられています。

このうち同バイパス事業は、国道 464 号の印西市萩原地先から、県道成田安食線の栄町安食地先（旧ナリタヤ跡地近く）までの延長 4.5km、幅員 16.0m を整備するものです。長門川に並行して走る現道は、道幅が狭く急カーブ区間が連続するため、救急搬送時は患者への負担軽減から他道にう回しているほど。歩車道分離の同バイパスの開通により、災害時等の救援・救助活動でも円滑で迅速な移動が期待されることです。

架橋から 50 年余り/自動車 1 台の通過がやっと

さて、鎌ヶ谷本埜線バイパス事業の中でも特に重要視されているのが、長門川に架かる豊年橋の架け換え工事です。栄町安食と本埜地区を結ぶ豊年橋は、地域

豊年橋の施工状況（印旛郡栄町）



住民にとって日々の生活道路となっている一方、架橋から 50 年余りが経過し、自動車も 1 台通るのがやっと。町とともに、老朽化の激しい豊年橋の先行開通を求めています。

H29 年度は仮栈橋と橋脚の設置を予定

バイパス事業に伴い新しく設置される豊年橋は、橋長 105 m、全幅員 12 m（道路幅員 7.5 m、片側 1 車線、歩道片側 3.5 m）となる見込み。豊年橋付近では、既存水路の真上に新道が設置されることから、う回道路とう回水路を設置。本年 3 月末までに、旧水路であった箇所の地盤改良と既存水門の撤去、長門川右岸（安食側）の橋台（橋脚を支える台）設置を終えたところです。

今年度は、現豊年橋の脇に工事用の仮栈橋とともに、P1・2 の 2 基の橋脚（上図参照）を設置し、いよいよ豊年橋完成へラストスパートということになります。

肝心の完成時期は平成 30 年代初頭の見込みですが、引き続き、早期開通を目指し働きかけてまいります。



県土整備常任委員の仕事

